

令和3年度 北海道稚内養護学校 第2回学校運営協議会記録

1 日 時 令和3年10月26日(火) 17:00~18:30

2 場 所 北海道稚内養護学校 高ホール

3 式次第

(1) 開会式

・会長挨拶

(2) 熟議 *交通安全啓発活動(仮称)について

・趣旨説明

・意見交流

・発表

(3) 閉会

・校長挨拶

4 協議内容 * (2) について

①趣旨説明(教頭より)

交通安全啓発活動(仮称)を提案したい。本校がこれまで行ってきた地域と関わりのある教育活動等を表にまとめたが、コロナの関係もあり、最近は実施できていない活動が多い。油断できない状況は続くが、対策を取りながら地域と一緒にできないことがないかを教職員で模索してきた。その中で、交通安全啓発活動は屋外の活動であり地域の方にも協力していただきやすい活動ではないかと考える。次年度の実施に向けてご意見をいただきたい。

②意見交流(A、B二つのグループに分かれ協議員より意見をいただいた)

【実施時期】

- ・春や秋、観光シーズン。
- ・体調面が心配される児童・生徒もいるため暖かい時期がよい。
- ・一度ではなく、年に数回実施することも考えられる。

【場所】

- ・学校前、国道や道道、旧志和商店前、声問神社付近、ふれあい公園の駐車場。
- ・学校から近い場所や、歩いていける場所。

【参加者】

- ・PTA、運営協議会の構成員やその勤務先の方々。
- ・声問小学校の児童、町内会、地域の企業。
- ・身障者協会、交通安全協会などの団体。
- ・大谷高校の生徒(1年生が7月に実施している)など、本校の児童生徒と同年代の人々。

- ・ノーマライゼーション推進委員会の取組との連携。
- ・警察や行政との協力。

【内容や必要な物品】

- ・旗振り、ポケットティッシュ配布（児童生徒のメッセージや校名入り）
- ・横断幕、看板、ポスター作製、テントの設置
 - 旗は市役所や警察の交通安全協会で旗を借りられる。
 - 横断幕や旗などは、地域の施設に製作を依頼することも可能ではないか。
- ・声問で行われている交通安全祈願祭への参加。
- ・障害者目線からの啓発活動に重点をおく。
- ・マスコットキャラクターを作製して気を付けて欲しいマナーなどを代弁させる。

【課題】

- ・コロナ対策。
- ・安全面、ティッシュなどを車に停まってもらい渡すことは危険ではないか。
 - 他団体では、警察の協力により信号を操作するなどして、停車してもらっている。
 - 国道で車を停めてティッシュを配布することが難しければ、国道では横断幕でPRをして、ふれあい公園で停車中の車にティッシュを渡すなど、いくつかに分かれて実施するのもよい。

【ネーミング】

- ・交通安全運動大作戦、交通安全旗波作戦、生徒から募集してもよいのではないか。

【その他】

- ・負担を減らすためにも、既存の取組と合同で行ってはどうか。
- ・最初から全てのアイデアを取り込むのは大変である。少しずつ発展させていくとよい。
- ・マスコミの宣伝は必須。
- ・声問地区は地域で交通安全祈願祭を行っている。また、自動車学校があり同じ敷地に交通安全協会も設置されている。こういったことから、交通安全の意識が他の地域より高いのではいかと考える。背景にはスピードが出やすい道路があり、事故の多い地域だったことがあるのかもしれない。交通安全啓発活動というのは、声問の地域にとって、現実的でイメージしやすい取り組みである。
- ・災害などの非常時に、こういった活動を通したつながりが大切になってくるのではないか。